

駒井徳三（こまわ といきち） 實業家。明治十八年六月十日滋賀縣生れ。昭和二十  
六年五月十二日没（一八八一—一九六一）。東北帝國大學卒。滿鐵（南滿洲鐵  
道株式會社）に入社。滿洲事變後、關東軍財務顧問として滿洲建國工  
作に參劃、昭和七年初代國務院總務長官に就任。九年滿洲經濟人材育  
成のため康徳學院を設立し院長、その後、興亞時習社學長を務めた。戦後  
は實業界に入り入る。

回顧録『大陸小志』（昭和十九年十一月—二十日大日本雄辯會講談社）  
がある。

